



1年学年だより

発行日：平成 30 年 9 月 28 日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一

NO. 5

開校記念日に寄せて

校長 磯部 修一

横浜市立南高等学校附属中学校は平成 23 年 10 月 1 日に創立され、開校記念日は 10 月 1 日とされました。その開校記念日が近づいて来た今回の学年だよりでは、本校の開校までの経緯を少し書くこととします。

平成 21 年 11 月に横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校の設置に関する基本方針」を発表しました。その中では、経済的に負担の少ない、公立の中高一貫教育校を、という市民のニーズに応えるために、平成 24 年度に南高等学校に附属中学校を設置して、併設型の中高一貫教育校として開校する旨が述べられています。

平成 22 年 5 月には横浜市教育委員会が「横浜市立中高一貫教育校基本計画」を策定し、その中で市立の中学校や高等学校に加えて市立中高一貫教育校という新しい選択肢を市民に提供するために設置し、6 年間の安定した環境の中で、計画的・継続的な教育活動を展開し、横浜はもとより国際社会で活躍する志の高いリーダーとなる人材の育成を目指すとしました。

平成 23 年 4 月に開設準備室が南高等学校内に設置され準備を開始しました。

平成 23 年 5 月に「横浜市立学校条例」の一部が改正され、本校の開校が正式に決定しました。

平成 23 年 10 月 1 日に本校が開校し、平成 24 年 4 月 1 日に 1 期生が入学して、次のように本校への期待が込められた開校宣言がなされました。

開校宣言

平成二十四年四月一日をもって

横浜市立南高等学校附属中

学校を開設します

横浜市立南高等学校との一貫

教育により、高い学力と豊かな人

間性をはぐくみ、高い志と幅広い

視野をもって世界で活躍できる

人間を育成する中学校として

発展することを期待し、ここに

開校を宣言します。

平成二十四年四月一日

横浜市教育委員会

今後も高い学力と豊かな人間性をはぐくみ、世界で活躍できる人材の育成を目指して職員一丸となって学校づくりを進めます。

笑顔あふれた南高祭舞台の部・展示の部！

9月7日(金)に南高祭舞台の部、8日(土)、9日(日)に展示の部が開催されました。舞台の部では高校生を中心としたパワフルな演説発表に目を奪われました。憧れの章ではプロのお笑い芸人の方たちが会場全体をととても明るく温かい雰囲気にしてくれました。また、7期生のCM出演には先輩方からあたたかく力強い声援をいただきました。

展示の部では二日間を通じて8000人を超えるお客様をお迎えして、大盛況でした。1年生はEGG学習の大テーマ「世界を幸せにする第一歩」に基づいた、新聞作成とその展示でした。大テーマに基づいて各学級でクラステーマを設定し、クラステーマから一人ひとりが自分の新聞テーマを設定しました。夏休みも使って資料を集め、整理し、新聞形式にまとめました。展示教室はお客様に楽しんでもらえるよう、アイデアを出し合いながら装飾をしました。7期生からお客さまへ、笑顔のリレーができたと思います。

7期生の笑顔があふれ、先輩方のやさしさ、あたたかさにもあらためて実感した南高祭。その南高祭成功に向けて、舞台の部委員さん、展示の部委員さんが奮闘してくれました。ありがとう。

南高祭をふりかえって

1組 ～1-1工場 歯車で動かす未来の幸せ～

○みんなが「何か手伝うよ」と声をかけてくれて、たくさんの人が協力してくれてすごくやる気も出たし、楽しかった。今回の南高祭でみんなと協力して1つの物事をやりとげる事の楽しさを学んだ。自分は絵を描く事が好きだから今回は自分が積極的に装飾をした。リーダー的な事をするのは今まであまりなかったから大変だったけど、そのおかげで関わる仲間も増え、いいことがたくさんあった。

()

○大勢の人をまとめるときは、話し合いを進めるための計画を事前にしっかりと考えていないと、みんなをまとめられなくなることが分かった。みんなが楽しめるように展示の準備を進めるには、一人ひとりに合った仕事(作業)を考えておくといいということも学んだ。今度みんなと作業をする機会があったら、このことを生かしたい。



2組 ～1-2 スポーツ半端ないって～



○舞台の部も展示の部も全てが楽しく、感動した。なぜだろうと思い、もう一度振り返ってみた。全ての人の本気だった。笑顔で本気で楽しもうとしていた。だから周りにいた僕も、外の方も楽しむことができた。本気でやれば楽しい、本気でやるから楽しいのだ。これからの学校生活を本気で送り、さらに充実したものとしていきたい。また、唐揚げ棒とサーターアングギーがとてもおいしかった。いつかまた食べたい。

○クラス展示を通して、他の誰かに楽しんでもらうことの喜びを感じた。また、この関係こそが「Win Win」というものなのだと実感した。他クラスの展示を見て、どのクラスにもお客さんを楽しませようというおもてなしの

心を感じた。南高祭を通して、相手を楽しませようというおもてなしの心を感じた。おもてなしの心は相手を喜ばせるだけでなく、こちらの心も豊かにしてくれるという力があることを知った。()

3組 ～環境は人のために 人は環境のために～

○チームで協力して一つのことを成しとげることの大切さやみんなで盛り上がり心一つにすることなどを学ぶことができた。クラスの装飾を作るにあたって、とても活発な話し合いをすることができた。実際の作業でも一人ひとりが自分からやることを見つけ率先して取り組むことができた。みんなで考えた通り、楽しく新聞を読んでもらうという目的を達成することができた()



○初めてなので不安があったが、先輩たちを見て、人と接するにはとにかく優しく丁寧におもてなしの心を持つことが大切なんだと気づいた。その中でも特に笑顔は人を安心させ明るい気持ちにさせてくれると感じた。今後の生活でも友達や家族、先輩と話すときに生かしていきたい。()

4組 ～幸せ運ぶ HAPPY 号 みんなでつなごうどこまでも～

○南高祭では「人のために何かをする」ことの大変さと楽しさを学んだ。準備は大変だったけど、来てくださった方に喜んでほしいという思いで作業を行っていると思えてきた。「人のために」というのは普段の学校生活でも大切にしていきたい。()



○準備の時にとても印象的だったことがあります。それは、クラス中に「ありがとう」「ごめん」など、たくさんの言葉がとびかっていたことです。誰かが「はさみ持ってる？」と聞けば、多くの人が「持ってる」「ないで一す」のように返事をしていました。このような短い言葉の

やり取りでも、クラスが明るく団結しているように感じられました。私はクラスの人の言葉に反応し、返事をすることを続けていきたいです。みんなにひろがり、団結力を高めていければと思います。()

3年生対象 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果

平均正答率 (%)

	国語A (知識)	国語B (活用)	数学A (知識)	数学B (活用)	理 科
本 校	92.8	85.6	91.9	85.0	87.8
全国 (公立)	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

3年生を対象として4月17日(火)に実施された、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。実施された国語・数学・理科の3教科において、平均正答率は全国(公立)を大きく上回る結果となりました。調査問題は国立教育政策研究所のホームページからダウンロードすることができます。

姫のひとりごと

初めての南高祭。舞台の部や模擬店など、中高一貫教育校ならではの文化祭を存分に楽しめたのではないのでしょうか。最後まで、「1年生の新聞、見ていってくださ〜い。」と声を張り上げて、呼び込みをしていたみなさんの元気な姿が印象に残っています。

本当に多くの人たちのおかげで、充実した毎日を過ごせていることを、常々心に留めておきましょう。おのずと行動が変わってくると思います。